

もの言う牧師のエッセー 第40話 ロンドン・オリンピック小話

③ 「嗚呼 Lolo Jones」

残念ながら今大会では4位に終わり、口口にとっての長い4年が終わった。口口は6人兄弟姉妹の一人で、彼女の母ロリーに育てられた。父親は州刑務所に服役しており、極貧生活の中、彼女が9歳の時には親子7人揃って家を追い出され、仕方なく教会の地下室に全員で移り住んだこともある。

その後、高校では成績最優秀オーケストラ部にも属し、チェロ演奏で非凡な才能を発揮する傍ら、“本業”の女子陸上100mハードルで州新記録を樹立するまでになる。

嫌な顔一つ見せず昼も夜も子供たちのため働く母ロリーの愛と、彼女の才能を認めた心ある有志らの助けを得て、自らもアルバイトと練習に精を出し少しづつキャリアを積んだ彼女は、世界最速の女子ハードラーへと登り詰め、ついに北京オリンピックの大舞台に立ったのだった。

自他共に金メダルを期待し、いよいよレース開始、先頭を走っていた彼女は、このまま行けば誰の目にも優勝間違いなしと映ったが、ゴール手前の9つ目のハードルを引っ掛けてつまずき失速、何と7位で終わってしまった。これまで苦勞をかけた母にメダルをプレゼントしたい一心で走って来たのに「なぜ!？」と泣き叫ぶ口口。そんな彼女に母ロリーは叱咤する。「なぜって? それはあなたがこの時を乗り越えるためよ!」と。聖書曰く

「主は、『わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである。』と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。」

Ⅱコリント 12章9節

失敗者への冷遇は世の中の常識だ。しかし聖書の常識は、神の力で弱さを乗り越えるところにある。神の力で口口はまた立ち上がった。

